施工説明書　エコ内窓　Lite U　浴室仕様

このたびは、YKK AP 商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工の前に…
商品を正しく施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。
商品の施工については必ず本説明書に従ってください。

施工の後に…
取扱説明書・使い方＆お手入れガイドブックをお施主様にお渡しください。

シーリングは必ず実施してください!

- 「**シーリングマーク**」で表示している箇所の**シーリングは必ず行ってください**。シーリングがされないと、**漏水の原因**となったり、家屋や家財を傷めるなど**重大事故につながるおそれ**があります。
- シーリング材は、脱アルコール形シーリング材をご使用ください。（オプション品）
  ポリサルファイド系はサッシが変色するおそれがありますので使用しないでください。

シーリングマーク

本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

注　意

- 新規ユニットバス施工後に本商品を施工する場合は、ユニットバス施工時のシーリングが切れないよう、細心の注意を払って施工してください。
- 反り、変形等防止のため、直射日光に当てた状態で放置したり、高温にならないようにしてください。
- 樹脂は割れたり、傷ついたりしやすいため、乱暴に扱わないでください。
- 樹脂をハンマー等で直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 保管・輸送の際は、直接荷重がかからないようご配慮ください。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤溶液を使用し、有機溶剤のご使用は避けてください。

お願い

- 商品の取付の際は所定のねじを使用して適正なトルクで締め付けてください。
  また、ねじを締めすぎると樹脂が割れたり、ねじが貫通したりするおそれがあります。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれのないことを確認してください。
  取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮させることができません。
- 施工完了後、説明書の調整方法通り、調整が行われていることを確認してください。
  調整不良は操作不良や異常音の原因になります。

チェックシート

取付時、本文中に表示している「**チェックマーク**」の確認をしてください。

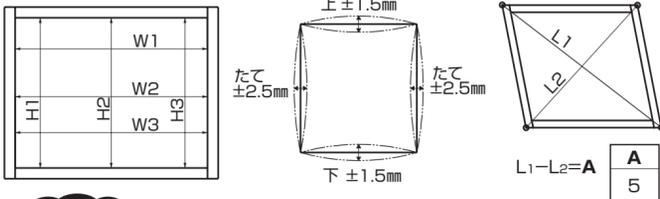
	項　目	チェック欄
❶	トルク調整をしましたか？	
❷	ねじれ・倒れがないことを確認しましたか？	
❸	内障子がはずれないことを確認しましたか？	

注　意（チェック❶）
取付時、電動ドライバー・エアードライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
1.0～1.5N・m（10～15kgf・cm）程度

お願い（チェック❷）
取付時、ねじれ・倒れがないことを確認してください。

開口部の確認

- ■H1～H3およびW1～W3の最低3ケ所を採寸し、**最小寸法をW、H寸法**としてください。
- ■上下左右のたわみが図に示す範囲内であることを確認してください。
- ■枠の対角差が図に示す範囲内であることを確認してください。

$L_1-L_2=A$	A
	5

ポイント

- 施工時にすき間がある場合は、シーリング材で塞いでください。
- 開口部のたわみ量が範囲を超えている場合は、枠との間にスペーサを入れて調整してください。
  その際、できたすき間は、シーリング材で塞いでください。

本説明書は樹脂額縁納まりで説明しています。
タイル納まりは違う部分のみを記載しています。

1. 四方額縁の清掃

四方額縁をウエスなどで拭取り、汚れや水分を残さないでください。

お願い
汚れや水分が残っていると、両面テープの粘着力が弱くなり、はがれの原因になります。

同梱部品一覧

樹脂額縁納まり

姿　図						
品　名	スペーサ	はずれ止め	ワッシャ	小トラスタッピンねじ1種（φ4×45）	プラグ(灰色)	皿タッピンねじ1種（φ4×40）
品　番	3K-21215	5K-17001	3K-21219	AM-4045	2K-36838	AF-4040D7
個　数	4	1	4	4	7～9	3～5
備　考	建付調整用			上枠、はずれ止め取付用	上枠、はずれ止め取付用	下枠アタッチメント取付用

	ユニットバス壁厚0.5～3㎜の場合に使用		ユニットバス壁厚4～10㎜の場合に使用 下地材に直接ねじ止めできない場合に使用	
姿　図				
品　名	ウェルナット	トラスタッピンねじ（φ4×16）	プラグ(灰色)	小トラスタッピンねじ1種（φ4×45）
品　番	2K-21413	EM-4016	2K-36838	AM-4045
個　数	3～5	3～5	3～5	3～5
備　考	額縁下部補強材取付用	額縁下部補強材取付用	額縁下部補強材、下枠アタッチメント取付用	額縁下部補強材取付用

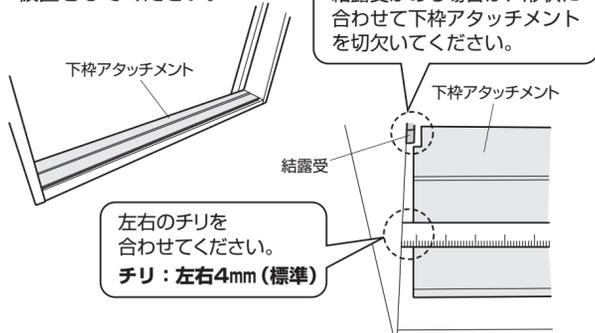
タイル納まり

姿　図						
品　名	スペーサ	はずれ止め	ワッシャ	丸木ねじ（φ3.8×25）	プラグ(緑色)	皿タッピンねじ1種（φ4×20）
品　番	3K-21215	5K-17001	3K-21219	WR-3825	2K-29332	AF-4020D7
個　数	4	1	4	4	7～9	3～5
備　考	建付調整用			上枠、はずれ止め取付用	上枠、はずれ止め、下枠アタッチメント取付用	下枠アタッチメント取付用

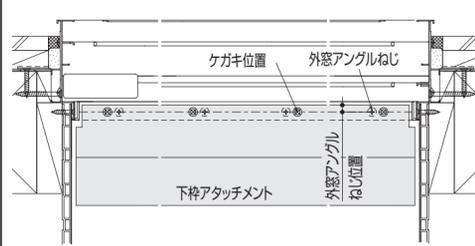
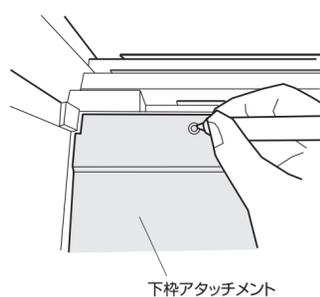
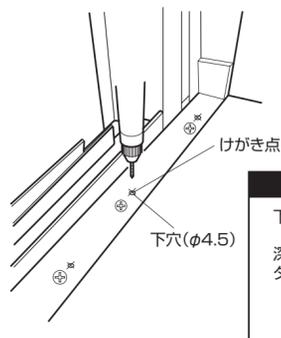
2. 下枠アタッチメントの取付

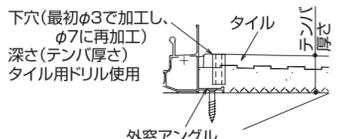
1 下枠アタッチメントを仮置きしてください。

結露受がある場合は、形状に合わせて下枠アタッチメントを切欠いてください。

左右のチリを合わせてください。
チリ：左右4㎜（標準）

下枠アタッチメントの位置決め

下穴の出入り方向位置は、外窓アングルねじの位置を目安にしてください。

タイル納まり
外窓の立上がりに下枠アタッチメントを合わせてください。

2 下枠アタッチメント取付用の下穴位置を下額縁にけがいてください。

3 一度下枠アタッチメントをはずして外窓アングルに下穴（φ4.5）を加工してください。

ポイント
ねじ穴位置が外窓アングルねじと干渉または近い場合は、外窓アングルねじをはずして下穴を加工してください。
外窓アングルねじ　下枠アタッチメント取付用ねじ穴

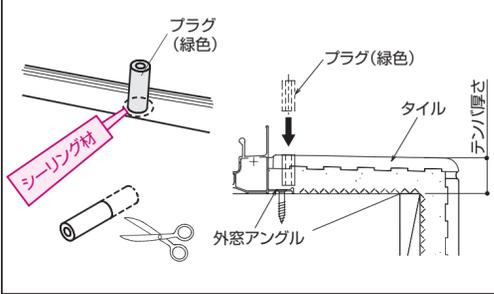
タイル納まり
下穴（最初φ3で加工し、φ7に再加工）
深さ（テンバ厚さ）
タイル用ドリル使用
タイル　テンバ厚さ
外窓アングル

4 下枠アタッチメントが下地材に直接ねじ止めできるか確認してください。
止められない場合は下記を参考にしてください。

下地材に直接ねじが止められない場合

- 下地材がピッチ間隔で取付けているなど、直接下地材に止められない場合は、下穴（φ8、深さ：30㎜）を再度あけ直して、プラグを取付けてください。

- プラグは、**下図の向きで挿入**し、挿入する時に、プラグの着座面とアングルの間をシーリングしてください。
  向きが違うと、ねじが効かない可能性があります。

ポイント
木ハンマーなどで軽くたたくと、挿入し易いです。

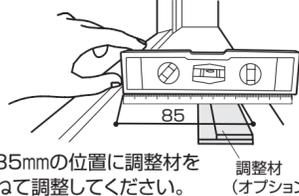
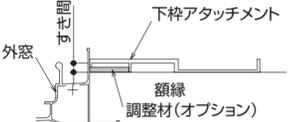
タイル納まり
穴の深さに合せて、**プラグをカットして**挿入してください。
プラグの小口をシーリングしてください。

5 下額縁の水勾配を確認して下枠アタッチメントを水平に取付けてください。

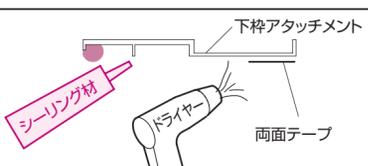
- 水勾配が2°以上ある場合は、調整材（オプション）などを用いて、下枠アタッチメントを水平に取付けてください。

  下枠アタッチメント　水平　調整材(オプション)

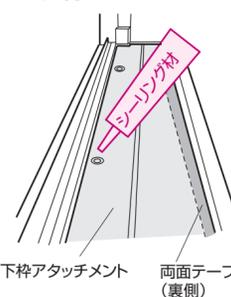
- 外窓のアングルがないなどで、下枠アタッチメント先端と額縁にすき間がある場合は、調整材（オプション）などを挟んでください。

ポイント
約85㎜の位置で調整材厚さが3㎜以下なら、2°未満なので調整は不要です。

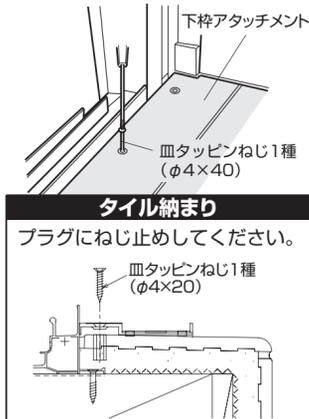
約85㎜の位置に調整材を重ねて調整してください。

注　意
調整材を使用する場合、調整材と下地（窓台）を両面テープを使用し固定してください。
住友スリーエム　VHBテープ　**Y-4922**

6 下枠アタッチメント全長にシーリング材を先打ちし、裏面の両面テープをはがして圧着してください。

ポイント
下枠アタッチメントを取付けた時、額縁にシーリング材がはみ出す位に多めに先打ちしてください。

ポイント
両面テープの貼付は
- **気温10℃以下の場合ドライヤーで温める**
- **100㎜の幅に対し2.0kgの力で圧着**

してください。

7 ねじ穴にシーリング材を先打ちしてください。

8 下枠アタッチメントをねじ止めしてください。

下枠アタッチメント
皿タッピンねじ1種（φ4×40）

タイル納まり
プラグにねじ止めしてください。
皿タッピンねじ1種（φ4×20）

W＝1000以下の場合は、たて枠・上枠の取付方法が異なります。別紙施工説明書を参照してください。

3. たて枠の取付

1 たて枠を仮置きして、位置をけがいてください。

反対側の枠も同様です。

ポイント
上下端部と中央部のチリを合せてください。

2 たて枠裏面の両面テープをはがし、圧着してください。

ポイント
両面テープの貼付は
- **気温10℃以下の場合ドライヤーで温める**
- **100㎜の幅に対し2.0kgの力で圧着**

してください。

4. 上枠の取付

1 上枠を仮置きしてください。

ポイント
両端と中央部のチリを合わせてください。

2 上枠取付用ねじの下穴位置・はずれ止め位置を上額縁にけがいてください。

■上枠 上枠取付用穴 上枠取付用穴 室外側 はずれ止め取付用穴

3 一度上枠をはずして、上額縁に下穴（φ8）を加工してください。

4 プラグを挿入してください。

シーリング
プラグの着座面とアングル間をシーリングしてください。

タイル納まり
プラグ挿入後、プラグの小口をシーリングしてください。
プラグは緑色

ポイント
木ハンマーなどで軽くたたくと、挿入し易いです。

5 上枠の両面テープをはがし、圧着してください。

上枠 ドライヤー

ポイント
両面テープの貼付は
- **気温10℃以下の場合ドライヤーで温める**
- **100㎜の幅に対し2.0kgの力で圧着**

してください。

6 ねじ穴にシーリングを注入し、プラグにねじ止めして上枠を固定してください。（両端2ケ所）

小トラスタッピンねじ1種（φ4×45）

タイル納まり
皿木ねじ（φ3.8×25）

シーリング材

5. 下枠の取付

下枠の両面テープをはがし、圧着してください。

下枠 ドライヤー

ポイント
両面テープの貼付は
- **気温10℃以下の場合ドライヤーで温める**
- **100㎜の幅に対し2.0kgの力で圧着**

してください。

チリが等しいことを確認
チリ 下枠 チリ
下枠アタッチメント

6. 下枠レールの取付

下枠に下レールを取付けてください。

下レール 下枠

ポイント
中央に突起がある方を上にして取付けてください。
突起 下枠

7. 額縁下部補強材の取付 樹脂額縁納まりで、額縁下部補強材が必要な場合

下額縁の見付面が壁パネルにねじ固定されていない、または、ねじ固定されているか不確かな場合、額縁下部補強材が必要です。

1 額縁下部補強材を仮置きして、下穴位置をけがいてください。

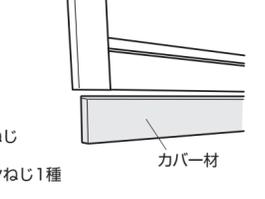
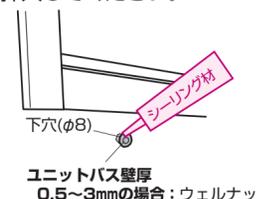
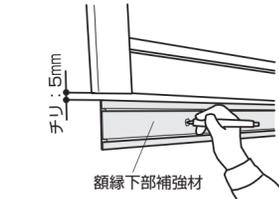
2 下穴（φ8）加工し、シーリング材を先打ちして、ウェルナット（プラグ）を挿入してください。

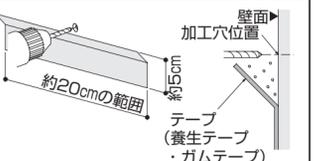
ユニットバス壁厚
0.5～3㎜の場合：ウェルナット
4～10㎜の場合：プラグ（灰色）

3 額縁下部補強材を取付け、シーリング材を先打ちしてねじで固定してください。

ユニットバス壁厚
0.5～3㎜の場合：トラスタッピンねじ（φ4×16）
4～10㎜の場合：小トラスタッピンねじ1種（φ4×45）

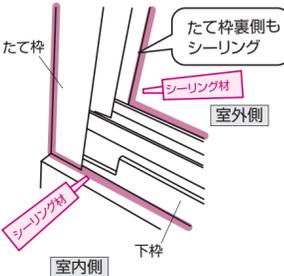
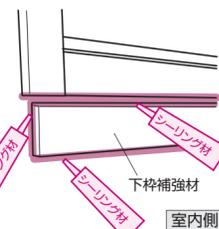
4 カバー材をはめ込んでください。（スナップ固定）

カバー材

注 意
- 壁パネルに下穴（φ8）加工する際は、壁内のリモコンの配線に気をつけてください。
- 加工をする際に出る、切り粉は **"もらい錆"** の原因となりますので、必ず掃除をお願いいたします。

切り粉の落下キャッチの裏技
穴加工位置の真下に、テープを貼付けてください。
テープは下半分を貼り、上半分は手前に傾けるようにしてください。
切り粉がテープでキャッチでき、掃除が楽になります。

8. シーリング

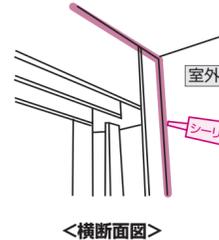
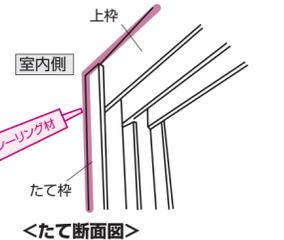
下枠コーナー部
図は下枠左コーナー部を表しています。右コーナー部も同様にシーリングしてください。

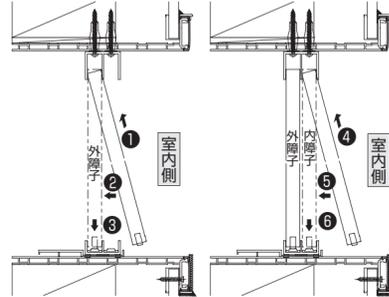
下部補強材まわり
樹脂額縁納まりのみ

シーリング材 シーリング材 下枠補強材 シーリング材 室内側

上枠コーナー部 図は上枠左コーナー部を表しています。右コーナー部も同様にシーリングしてください。

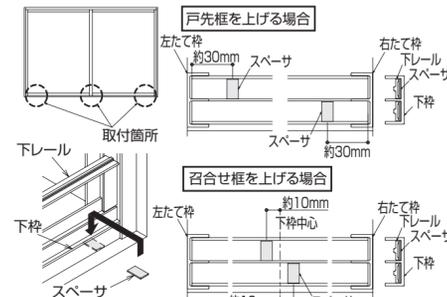
室外側 シーリング材
<横断面図>

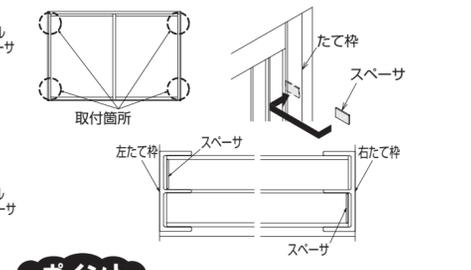
下枠アタッチメントに先打ちしたシーリングとつなげてください。

シーリング材 シーリング材 たて枠 シーリング材 シーリング材

9. 障子の吊込み

室内側より、外障子、内障子の順に枠に吊込んでください。

ポイント
引手が室内側になるように吊込んでください。

10. 調整

下枠とレールの間にスペーサを取付けることで建付調整が行えます。

ポイント
枠の貼付け面の油、汚れなどをきれいに落としてください。

また閉じた状態でたて枠と障子のガタつきが気になる場合は、たて枠の上または下に重ねて貼付けることで抑えることができます。

ポイント
調整にスペーサが更に必要な場合は、オプションの調整スペーサ（**BS-WUH-1** 20枚入り）を使用してください。

11. はずれ止めの取付

1 障子をすべて左に寄せてください。

2 上枠と内障子上端とのチリを測定してください。チリに応じて、ワッシャの枚数を変えて貼付けてください。

A≦14…各0枚
14＜**A**≦17…各1枚
17＜**A** ………各2枚

上枠 内障子 外障子

3 はずれ止めを上枠の外障子側溝と外障子の間に差込んでください。

はずれ止め

ポイント
中央の曲げ部が内障子側になるように少し傾けて差込んでください。

はずれ止め 内障子 外障子

4 はずれ止めの立上がりを中間レールの切欠きにはめてください。

はずれ止め 内障子 外障子

5 はずれ止めをねじ止めしてください。

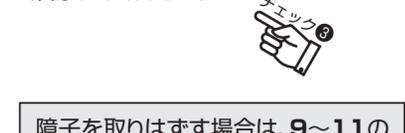
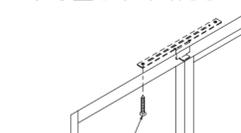
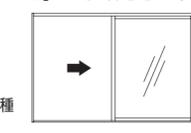
小トラスタッピンねじ1種（φ4×45）

タイル納まり
丸木ねじ（φ3.8×25）

6 障子をすべて右に寄せてください。

7 はずれ止め（反対側）をねじ止めしてください。

タイル納まり
丸木ねじ（φ3.8×25）

8 開閉確認、内障子がはずれないことを確認してください。

障子を取りはずす場合は、**9～11**の逆手順で行ってください。